



筑後市社会福祉協議会／広報

1月号
446号

筑後市社会福祉協議会
(〒833-0032 筑後市野町680-1)
TEL 52-3969
FAX 53-6677
mail info@chikugo-shakyo.or.jp
URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに … それが社会福祉協議会の目標です。

2023年を迎えて…周りに頼る姿を見せる



西牟田校区学童保育所「はっぴいクラブ」の子どもたちが撮影に協力してくれました
(マスクは撮影の時のみ外しています)

どんな人が近くにいたら
良かつたと思う?

「子どもの時に、どんな人が近くにいたら良かつたと思う?」

元ヤングケアラーで、不登校経験者でもある女性に質問してみました。すると、「完璧ではない人」という答えが返ってきました。

「周りの大人は、みんな完璧に見えた。完璧な人に、つらい気持ちや家族の大変な状況を話すことはできず、1人で悩みを抱え込んでいた」「できないこと、苦手なこと、失敗談を話してくれる大人がいたら、本音を話せたかもしない」。彼女はそう話しました。

完璧ではない姿を見せる そんな大人は貴重な存在

人生を振り返った時、「失敗・挫折・苦労を全くせず、苦手なこともなく生きてきた」という人はいないのではないでしょうか。
しかし、前述の女性は、周囲にいた大人たちから「失敗・挫折・苦労・苦手」を知らされなかつたようです。やはり、「完璧ではない姿」を周りに見せる」とには抵抗がある、といふ方が多いのかもしれません。

孤立するリスクを
軽減するためにできること

「学ぶ」という言葉は「真似ぶ」という言葉から生まれた説があるそうです。「完璧ではない姿」や「助けられる姿」をオープンにすると子どもたちはそれを見て学び（真似て）、「僕・私も相談してみよう」と思うようになるかもしれません。つまりそれは「受援力」です。そんな力を持つことは、将来の孤立のリスクを軽減させるはずです。

「周りに頼る姿」を 次の世代に見せませんか?

私たちの地域で育つ子どもたちには、どのように成長してほしいでしょう。少なくとも、「失敗・挫折・苦労・苦手」に直面した時に、1人で抱え込まないでほしいものです。受援力が育まれる地域づくりのために、「完璧ではない姿」「助けられる姿」を次の世代に見せていくそんな1年にしてみませんか？

校区福祉会
研修会

地域で褒め合う関係を！

**一人で悩まず、笑顔でいることが
幸せづくりのコツ！**



水洗校区福祉会では、11月15日に「認知症の初期症状」について研修会が行われました。川島豊輝さん（ディサービス絆施設長）を講師に迎え、認知症の人や家族を地域で支えるヒントを学びました。

きりますよね。頭の中も同じで、脳にシミがたくさんでき状態がアルツハイマー病です。40歳頃から50年経つと、8割の方がアルツハイマー病による認知症になるのです。

そう考えれば、みんなが認知症になることを前提とした地域づくりが必要なのです。

**小学生よりも
認知症の人の方が多い時代**

全国で700万人が認知症だと推計されています。日本の小学生は約600万人。小学生よりもはるかに認知症の人が多い国なのです。さらに95歳以上の人約8割が認知症です。人生100年時代、認知症はどう付き合いか、避けては通れません。

**認知症になることを前提に
地域づくりを進める**

長生きすると認知症になりやすくなるのはアルツハイマー病が大きく影響しています。

40歳頃からシワとシミが増えています。

ひとり親家庭を応援します！

★食料品を無料で配布します！

お米、インスタント食品等を配布します。必要な方はお気軽にご相談ください。数に限りがありますので、先着順とします（事前申込み不要、仕事の都合等で来所が困難な場合は、ご相談ください）。

対象 平成12年4月2日以降生まれの子がいるひとり親家庭

とき 1月10日（火）～13日（金）
9時～18時（13日は17時まで）

配布場所 筑後市総合福祉センター

問合せ 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969
mail info@chikugo-shakyo.or.jp

**★グリーンフードパントリー
(野菜の無料配布) も
好評実施中！
*詳細はコチラ ⇒⇒⇒**



学生生活応援企画！ —九州大谷短期大学で食品配布—



11月22日（火）と28日（月）、九州大谷短期大学で学生支援の一環として食品と生活用品の配布会を行いました（計175人に配布）。

コロナ禍で何かと制限が多い学生生活ですが、学生の皆さんを応援したいと考えている大人がたくさんいることを感じていただけた幸いです。

★子育て世代を食で応援プロジェクト

寄付でいただいた食品（お米など）を無料配布します。

とき 1月13日（金）18時～19時30分

配布場所 筑後市総合福祉センター

対象 小中学生の子どもがいる世帯

*筑後市在住の方限定
*ひとり親家庭の方は除く。左上の食品配布をご利用ください。
*事前申し込みは必要ありません。



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金で作成しています。

状が良くなることもわかつていま
す。逆に責められたり、疑われたり
する人は認知症の症状が強く出やす
いようです。

褒め合う・認め合うことを、隣近
所でできると、認知症の改善に加え
認知症予防につながっていくのです。

「大丈夫、そんな時もあるよ」

軽度認知障害（MCI）も注目さ
れています。これは、認知症の一歩
手前の状態のことです。基本的な日
常生活は正常ですが、物忘れがあつ
たり、昔よりも時間がかかるたり、
間違いが多くなったりします。

この状態の人をできるだけ褒める
と、回復することがあります。逆に
怒ってしまうと認知症に近づきま
す。ちょっと失敗があつても、「大
丈夫、そんな時もあるよね」と認め
てあげることが大切です。

**認知症だけではなく、
生活のしづらさに着目する**

生活のしづらさに着目することも
大切です。

ゴミの出し方が分からなくなつた
認知症の人がいたとします。例えば

「ゴミを分別しやすいようゴミ箱を色
分けする、ゴミを出す曜日が分か
るよう電波カレンダーを利用するな
ど、工夫したいものです。

そして、近所でサポートしてくれ
る人の存在です。住民だけでは限界
がありますから、企業や介護事業所
なども協力し合えると良いですね。

「ちょっと失敗があつても

**ポジティブは人に伝染する！
そんな声掛けを広めよう！**

「ポジティブは人に伝染する」と
いう研究があるほど、ポジティブ
ケア”が注目されています。日々の
挨拶に「最近調子どう？」「元気ね！」
など、ポジティブな声かけを加える
と、「貴方を大切に思っていますよ」と
いう言葉になってしまいます。

「私は認知症かも知れない」と相
談できますか？「助けて」「困った」

と言える力はとても大切なことで
す。一人で悩まず、笑顔でいようと
することが、幸せづくりの「ツ」な
かもしれませんね。

市内の各校区福祉会では、「このよ
うに研修会を行なっています。校区
内の福祉関係者が一堂に会し、私た
ちの地域をより良くするためにと学
習が進められています。

気軽に立ち寄りください

精神障害のある人のための居場所・交流スペース

かたる～む の1月の予定

とき 1月 13日・27日（金）

13:30～15:00

★予約不要・時間内出入り自由

ところ 筑後市総合福祉センター（野町 680-1）

問合せ 筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969 FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

受講者募集！

介護家族の会
つスモス

健康体操 講座

～家族を介護する人のための健康づくり！～

とき 1月 15日（日）10:00～11:30

講師 筑後市役所 高齢者支援課職員

会場 筑後市総合福祉センター

対象者 家族を介護されている方

申込み 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969

不登校・ひきこもりの方の家族会

サレビアの会に来てみませんか？

同じ立場同士なら話せる！ 分かり合える！

とき 1月 14日（土）14:00～15:30

学習会 家族向けの学習会

会場 筑後市総合福祉センター

対象者 不登校やひきこもりの方の家族

申込み 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969

ひきこもり家族相談会

◎とき：1月 19日（木）13:00～16:00
(毎月第3木曜日 13:00～16:00実施)

◎ところ：筑後市総合福祉センター

- ・相談希望の方は、1月 12日（木）17時までにご予約ください。(1日限定3組)
- ・原則、来所での相談となります。
- ・匿名での相談も可能です。

問合せ・予約は筑後市社会福祉協議会へ
TEL：52-3969 FAX：53-6677

社会福祉事業費へ寄付

★香典返し寄付の部★

下川 真弓 様（故村上イス様）八女市
猪口 正亮 様（故洋子様）溝口南
江里口 岬 様（故充様）上町
松崎 英二 様（故森田朝幸様）徳久
角 益之 様（故茂子様）
下川 泰子 様（故郁男様）馬間田北
角 一成 様（故原田常雄様）前津

○大牟田柳川信用金庫様（大牟田市）
から現金の寄付がありました。

善意奉仕銀行寄付

●預託の部（物品口座）

★ 計 二七八、〇〇〇円

○匿名様からワイヤーシャツ・紙オムツの寄付がありました。
○立山康弘様（和泉中）、匿名様から野菜類の寄付がありました。
○村上昌彦様（津島東）、匿名様から米の寄付がありました。
○松崎英二様（徳久）、匿名様から紙才の寄付がありました。
○JJAふくおか八女性部様から食品・日用品の寄付がありました。



子どもが好きな方、一緒に楽しく働きませんか？ 学童保育所支援員（常勤）

採用予定日	令和5年4月1日
勤務時間	月～土曜日・1日5時間（延長の場合あり） (平日13:00～18:00、土曜日・長期休暇8:00～13:00又は13:00～18:00)
休 日	日祝日・8月13日～15日・12月29日～1月3日
給 与	月額120,000円・処遇改善手当13,000円・役職手当3,000円～ (別途、通勤手当・延長手当・賞与年2回・退職共済・福利厚生制度加入)
資 格 等	不問 ※ただし、放課後児童支援員認定資格取得者が望ましい。（保育士、社会福祉士、2年以上の児童福祉従事経験者、幼稚園、小中学校の教員資格取得者及び取得見込み含む）
応 募	市販の履歴書に必要事項を記入し、下記へ提出（郵送・持参）してください。 ＊資格取得者は資格証明書または見込みの証明書の写しを添付。 ★令和5年2月10日（金）17時必着
試 験	令和5年2月25日（土）9:00～ 会場：筑後市総合福祉センター、内容：作文、面接
申 込 み	筑後市社会福祉協議会 総務福祉課 〒833-0032 筑後市野町680-1 TEL 0942-52-3969 Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

大牟田柳川信用金庫様からご寄付 「未来への架け橋」に



社会（地域・環境）への貢献を目的としたSDGs福祉応援定期預金「未来への架け橋」として寄せられた定期預金の0.01%相当額を、大牟田市・柳川市・みやま市・荒尾市・筑後市の各協力社に寄付していただきました。

たくさんの方々が、歩く高齢者。そんな場面に出会いました。万が一、転ぶと危険だと思い、声をかけてみたのですが…。「荷物持ちましょうか？」「家まで送りましょうか？」しかし答えは、「大丈夫です」「人様に迷惑をかけないよう、自分で行動しています」と。かといって、「分かりました」とは言えず、一緒に歩くことにしました。聞けば数十メートル先に停めた車に向かっているとのこと。

途中、近所の方も心配して出てこられ、口々に声をかける。しかし、誰の声掛けも「大丈夫です」と言われる。約1時間かけ車に到着。「ご迷惑をおかけしました。人に頼っちゃいけないと思っています」と言われました。確かに「できるだけ自分でやりたい」という願いはある。だから、この方の選択は正しいと思う。しかし、例えば手助けを受け入れて、お互いに「良かつたね」と言い合える選択肢もあるのではないか…、と。

ただ、見知らぬ人の「手伝いましょうか？」の問いかけを、私なら素直に受け入れることができるだろうか。ゆっくりと動き出す車を見送りながら、そんなことを感じていました。（善

事務局通信